

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2025 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2554
研究開発課題名	パーキンソン病患者の歩行障害を改善して在宅療養する患者の自立支援を行う歩行支援ガイド表示機器の開発
研究代表者	浜松医科大学 光医学総合研究所 長島優
研究開発成果の概要	パーキンソン病患者の歩行障害を改善する歩行支援ガイド表示装置の技術シーズについて、臨床研究を通じた概念実証データの再現性の確認と製品プロトタイプの作成を行った。確定した製品仕様について市場調査・特許調査を踏まえて、知財戦略の策定・ビジネスモデル構築を行い、技術移転先企業の事業計画書を作成した。

総合評価

技術は非常に興味深く、パーキンソン病患者の生活の質向上に大きく貢献し得るテーマである。臨床現場で課題に向き合いながら開発を進めている点も高く評価できる。今後は、障害者に届く価格帯・給付スキームを含めたビジネスモデル、既存デバイス活用も含めたアプリケーション開発の検討を期待する。

以上